



神を仰ぎ、人に仕う

Chapel News

2016年1月

No.16

「原因論から目的論へ」

今、日本で70万部が売れ、お隣の韓国でもその翻訳が40万部売れている、ベストセラーの本がある。それは『嫌われる勇気』という本。この本で紹介されている心理学者のアドラーは、日本ではあまり知られていないが、世界では、日本でもよく知られているフロイトと同じように知られた人である。しかし、両者の考え方は対照的である。

著者の岸見氏によると、フロイトの考えは原因を尋ねて行く考えである。たとえば引きこもりで悩んでいる人がいるとすると、その引きこもりを引き起こした原因を尋ねる。そして、その原因として、たとえば両親の離婚とかいじめとかを考え、そうしたトラウマがあったから今の引きこもりが起こったと考える。これが原因論である。しかし、アドラーはそうは考えない。というのも、同じようなトラウマがある人でも、皆が引きこもりになる訳ではないからである。そこで、アドラーが考えたのは、目的論である。人間が今ある状態は、その人がそれを求め、それを良しとしているから起こるのだと考えるのである。引きこもりも、それは結果ではなく、その人がそれを求めているからだとする。引きこもりを求めるというのは奇異な感じがするかもしれないが、引きこもることをおして、たとえば自分の存在を誇示したいとか、親を困らせたいとか、そういった目的を実現するために、いわば引きこもりを選び取っているのだと見る。それが目的論である。そのため、いわゆるトラウマなどはないと考える。それどころか、この目的論は、どう生きるか、つまりその人のライフスタイル(目的)を変えれば人生も変えることができると考える。そして、そのところに、この目的論の大きな特色がある。それに対し、原因論は、過去を変えることができない限り、それは今の自分を支配することになり、結局すべては過去によって決定されているという決定論になる。そして、それは、終には自分を変えることができないというニヒリズムに陥って行く。

聖書には、生まれつき盲人の人に対し、主イエスの弟子たちが、それは誰の責任ですかと尋ねる場面がある。それに対し主イエスは、誰の責任でもなく、それは神の栄光が現われるためであると答える(そして、この盲人は癒され、目が見えるようになる)。上の話から借用すると、主イエスは原因論的にではなく目的論的に語ったのである。そして、人を新しく生かしていく道を開いたのである。

原因論的に考えるのか、目的論的に考えるのか、ちょっと考えてみるのもいいのではないのでしょうか。どちらを選びとるので、人生は大きく変わって行くように思います。
(大学・政治経済学部チャプレン 菊地 順)

2015年度年間聖句

知恵を得ることは金にまさり
分別を得ることは銀よりも望ましい。

箴言 16章 16節

1月月間聖句

新しい歌を主に向かってうたい
美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ。

詩編 33編 3節

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。
どなたでも自由にご参加ください。

- ・ 1月14日(木) ミカ書 1章 濱田 辰雄チャプレン
- ・ 1月21日(木) ミカ書 2章 東野 尚志牧師
- ・ 1月28日(木) ミカ書 3章 柳田 洋夫チャプレン —キャンパス祈禱会—

全学礼拝期間について

2015年度秋学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日(授業期間)、14時40分から15時10分です。どなたでも自由にご参加ください。
秋学期/2015年9月29日(火)～2016年1月22日(金)

クリスマス献金のご報告

12月16日(水)、17日(木)のクリスマス礼拝で献げられた献金は、総額296,754円でした。献金先は、4号館前のキリスト教センター掲示板をご覧ください。感謝をもって各団体にお送りいたします。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくはみ名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救い出^{いだ}したまえ
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

1月12日(火)

奨励者 阿部 洋治
(人間福祉学科担当チャプレン)

司会者 菊地 順
奏楽者 渡辺 善忠

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 376 番 1、2 節
聖 書 マタイによる福音書
10 章 34~39 節(新約 P.19)

祈 禱
奨 励 「平和とは何か
—正義を求める祈り—

祈 禱
讃美歌 376 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

1月13日(水)

奨励者 窪寺 俊之
(こども心理学科長)

司会者 山口 博
奏楽者 山田 麻有美

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 452 番 1、2 節
聖 書 ヨハネによる福音書
3 章 16 節(新約 P.167)

祈 禱
奨 励 「神はそのひとり子を賜わったほどに
この世を愛して下さった」

祈 禱
讃美歌 452 番 3 節
主の祈り
後 奏

1月19日(火)

奨励者 松本 周
(キリスト教センター主事)

司会者 菊地 順
奏楽者 金 サラ(113C)

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 聖歌 397 番 1、2 節
聖 書 ハバクク書
3 章 17~19 節(旧約 P.1468)

祈 禱
奨 励 「揺れ動く地に立つ十字架」

祈 禱
讃美歌 聖歌 397 番 3 節
主の祈り
後 奏

1月20日(水)

—卒業生を覚える礼拝—

奨励者 菊地 順
(大学・政治経済学部チャプレン)

司会者 山口 博
奏楽者 松本 周

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 275 番 1、2 節
聖 書 創世記
12 章 1~4 節(旧約 P.15)

祈 禱
奨 励 「祝福への信頼」

祈 禱
讃美歌 275 番 3、4 節
主の祈り
後 奏



1月14日(木)

—成人を祝う礼拝—

奨励者 東野 尚志
(日本基督教団 聖学院教会牧師・
大学附属みどり幼稚園チャプレン)

司会者 阿部 洋治
奏楽者 相川 徳孝

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 449 番 1、2、3 節
聖歌隊による讃美奉献 453 番
聖 書 イザヤ書 40 章 27~31 節
(旧約 P.1125)

祈 禱
奨 励 「主に望みをおく人」

祈 禱
讃美歌 449 番 4、5 節
主の祈り
後 奏



1月15日(金)

奨励者 山口 博
(副院長・キリスト教センター所長・
児童学科、こども心理学科担当チャプレン)

司会者 柳田 洋夫
奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 312 番 1、2 節
聖 書 出エジプト記
3 章 7~14 節(旧約 P.97)

祈 禱
奨 励 「わたしは必ずあなたと共にいる」

祈 禱
讃美歌 312 番 3 節
主の祈り
後 奏

1月21日(木)

—英語礼拝—

奨励者 E. D. オズバーン
(欧米文化学科担当チャプレン)

司会者 阿部 洋治
奏楽者 菊地 永(112C)

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 英語讃美歌 17 番 1、2 節
聖 書 出エジプト記
13 章 17~22 節(旧約 P.115)

祈 禱
奨 励 “God’s Moral Compass”
(神の倫理の羅針盤)

祈 禱
讃美歌 英語讃美歌 17 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

1月22日(金)

奨励者 阿久戸 光晴
(理事長・院長)

司会者 柳田 洋夫
奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 531 番 1、2 節
SPO(アンサンブル)による讃美奉献 30 番
聖 書 詩編 85 編 11~14 節
(旧約 P.922)
マタイによる福音書 5 章 9 節
(新約 P.6)

祈 禱
奨 励 「平和の種をまく者の幸い」

祈 禱
讃美歌 531 番 3、4 節
主の祈り
後 奏